

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年9月26日
作成 高齢者支援センター	鶴川第1
作成者	高野 由美子

1.開催日時	2023年9月14日	(木)	19:00	～	20:30
2.会場	オンライン				
3.主催センター	鶴川1	・	鶴川2	・	
4.参加人数	31人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 7人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 6人 (うち、医師 人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 12人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input checked="" type="checkbox"/> 行政 3人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (医薬卸1人)				
6.開催テーマ	合同地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」に向けて				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>鶴川地区には災害時の医療拠点が少なく、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備が必要とされるが、各事業所とも体制整備に繋がるBCP策定に現状苦慮している。各事業所においてBCP策定と共に、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。</p>				
8.会議の内容	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養部会からの報告 ・災害時用連絡名簿検討部会からの報告：圏域の介護事業所に実施したアンケートの結果報告。 <p>○今年度の地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために今、私たちができることは？」について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程は11/24に決定。9月末案内発送、10/27締め切りとする。 ・当日の次第内容、グループディスカッションのグループ分け法、テーマ決定。 ・本番までのスケジュール確認 ・災害時個別避難計画モデル地区について市の説明会内容共有。 				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>2023年11月24日圏域合同地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」を開催決定。</p> <p>町田市の災害医療コーディネーターである村野小児科アレルギー科院長村野浩太郎先生から「災害時医療救護活動(医師会の対応)」、イワナガ大蔵薬局薬剤師鯨岡氏から「薬局のBCP、緊急時の対応」、居宅介護支援事業所悠々園 藤井 大介氏から「介護事業所のBCP、災害時用連絡名簿検討部会からの提案」、についてそれぞれ講義頂く。</p> <p>講義後、グループディスカッション(医療職、介護職をバランスよく分ける)にて「大災害時私たちができることは？」をテーマに意見交換を行う。</p> <p>今回会議の意見を元に、今後の地域での展開を検討する。</p>				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

9月 26日